

事業仕分け評価結果

事業名	1-1①	事業名	広報事業（広報「ふじみ」発行）		
担当課	秘書広報課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			18	3	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌は市民が何%くらい見るのか。 ・ 広報誌は、市民への市政等の情報提供であるので必要だと思う。高齢世帯など紙媒体が必要な方も多いと思う。 ・ 読まない方が多いため、欲しい方は有料にしたほうがよい。 ・ 不要なページが多い。 ・ アンケートをとらないとわからないが、広報発行をやめてもクレームはほとんどないと思われる。 ・ 漫画を取り入れるなど、もう少し簡単に誰でも読みやすくしてもよいのではないか。 ・ ホームページと重複している内容等を吟味して、ページ数を考慮する余地がある。 ・ 契約は競争入札にすべきである。 ・ 町会へ配布委託料を支払うのはおかしい。町会費を集めて、その会員のために活動するのだから、ボランティア的観点で捉えてよいのではないか。 ・ 各戸への配布費用が製作コストに比して高すぎる。 ・ 紙質等を落としても構わないので、コスト削減すべきである。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷委託、配布は、競争入札とする。 ・ 印刷業者の決定は、価格のみの入札ではなく、総合評価入札もひとつの方法である。 ・ ページ数は、さらにコンパクトにする。 ・ 配布方法は、町会への第2補助金となっているのでは。配布方法の再検討。 ・ 費用対効果についての調査が必要。 ・ アウトソーシングを拡大し、写真取材など職員一名で対応できる体制づくりを。 ・ 見やすいデザイン、レイアウト、記事等について、市民・有識者の意見も聴きながら改善すべき。 ・ 広報誌は、市民に見てもらわなければ全く意味がない。また、ホームページとの役割分担を明確にすべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-1②	事業名	ホームページ運営事業		
担当課	秘書広報課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			20	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯あたりのパソコン普及率はどの程度か。 ・インターネットを活用することはとても良いことであるが、インターネットを見られないIT弱者が多くいる。 ・アクセス数の目標を設定すべきである。 ・楽しみでホームページを見るわけではないので、必要以上にアクセス数を気にする必要はない。 ・広報に比べて、事業費・人件費がかかりすぎているため、ホームページの運営は民間委託の方向で検討すべきである。 ・ホームページの作成には専門知識が必要であり、更新・作成・レイアウトは職員、システム化は民間委託を考えるべきである。 ・バナー広告を検討してはどうか。 ・ホームページの更新は各課で行うべきである。 ・広報誌と同じ感覚ではなく、市政等の情報開示をリアルタイムで行うべきである。 ・市から各家庭へのメールによる広報を考えるべきである。 ・ホームページの情報を最大限広報にも掲載してもらいたい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの運営は、委託化を検討すべきである。 ・ホームページを充実させ、広報をスリム化する。 ・アクセス件数が少ない。魅力不足ではないか。コンテンツが乏しい。 ・人件費コストがかかりすぎ。庁内全体（各課等）でUPが可能なシステムに変更すべき。庁内委員会を組織し、全庁的な取組み体制を強化する。 ・多様な市民への対応として、音声表示も検討すべきである。 ・広告収入の検討を。 ・各担当課が、より主体的にホームページを通じて事務・事業の情報を公開していく姿勢と取組みを行う。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-2	事業名	IT推進事業 (電子申請共同システムサービス提供業務)		
担当課	情報政策課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
14		2	4		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
5					
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子申請はまだ市民に馴染んでいない。PR不足である。 ・申請資格の取得が面倒であり、また、署名、セキュリティ、個人認証などの点で実際の利用が難しい。年に何回かしか利用する可能性のないものであり、コストがかかりすぎである。 ・ホームページに組み込み、併合できないか。 ・結局は市役所に出向かなくてはならず、中途半端である。利用者数等を考慮すると、現段階では効率が悪く必要性は少ない。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同運営システムの今後の展開によっては利便性が増すことも考えられるため、今後どのようなシステムにしていくか検討が必要である。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用できる対象者が少なく、一件当たりのコストが高い事業である。 ・市民へのサービスの多様化の必要性は認識しているが、費用対効果を考えると、不要と判断せざるを得ない。 ・市民にとって利用しづらいシステムである。 ・全庁的に夜間・時間外の窓口対応を検討することで、電子申請共同システムの離脱は可能と考える。 ・個人認証不要のサービスは、ホームページでの対応も可能である。 ・住基カードが必要ならばその登録率が100%近くになってからでもよいのではないか。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-3	事業名	職員厚生事業（職員健康診断）		
担当課	職員課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	1	1	16	2	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			4	1	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体・精神面の管理は個人がすべきであり、受診は個人が費用負担すべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会所属のヘルパー等の健康管理面はどうなっているのか。 ・腰痛に健康診断が必要とは思えない。他市町村や企業で通常実施しているのか。 ・メンタルケアまで必要か。普通の会社でもそこまでしない会社も多いのではないか。 <p>民間に比べて優遇されすぎている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の業務量が多い。コスト比較をした上で、厚生事業をまとめて、民間委託したほうがよいのではないか。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員厚生に関する全ての事業を委託することを検討すべきである。 ・職員の健康管理は職場（市）の責務であるが、実施については、専門機関に委託してより充実させる方向が望ましい。 ・メンタル面のサポートを強化すべきである。 ・ルーティンな業務であり、特定時期に発生する事務であるため、非常勤職員対応を検討しつつ、委託とコスト比較を行い選択すべきである。 ・腰痛健康診断は、効果的なやり方の工夫を。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康保持・増進」はどこまで組織がフォローすべきかの目標を持って、必要なケアは拡大、それ以外は縮小する。 ・互助会と市の組織の分離を考えてどうかは。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-4	事業名	市民相談事業（法律相談）		
担当課	市民相談室				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	6		6	9	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	1		2	3	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談レベルであれば、費用の高い弁護士等でなくても十分可能である。 ・市の役割は、あくまでも相談に乗り、適正な専門職に振り分けることがあれば十分である。 ・受益者が少ないため、市民の一部費用負担（有料）を検討してはどうか。 ・30分程度の相談時間では、問題解決は少ないため、解決する民間を紹介すべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談後のアフターケアのほか、事後の感想、満足度等の把握が必要ではないか。 ・行政で無料サービスを提供する範囲を検討すべき。窓口紹介でよいと思う。 ・希望者に対する相談であり、また今後相談者が増えるのであれば、有料化を検討してもよいのではないか。 ・専門知識のある高齢者などのボランティアを活用すべきである。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談の業務を拡大して欲しい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の役割として妥当性が少ないため、実施する場合は、所得に応じた自己負担を求めべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日の実施を。 ・弁護士会に依頼すれば、謝金が安く済むのではないか。 ・相談の結果は、事業のあり方の見直しに役立てるよう、データを整理すべきである。 ・かけこみ寺的な面では市の業務であるが、公平性を考えると手厚い。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活の安全安心を確保する上で必要な事業である。 ・現在の実施回数では市民ニーズに対応できないのではないか。 ・拡充する方向でよいのではないか。 ・担任弁護士の選定や相談にあたっての基本ルールなどを明確化すべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1 - 5	事業名	市内公共交通対策事業		
担当課	道路交通課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
4	5		12		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1	1		3		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定業者の経営努力を願う。 ・初めに事業ありきの発想。他のバス運行との兼合い、時間等基本を整理すべきである。 ・平成20年度の1便あたり乗車人数は5.7人。果たして続ける意義があるのか。 ・各種条件を市が決めれば自ずとコストが決まってしまう。 ・当初の趣旨と現状が違っている。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益者間の不公平感が多い。 ・委託事業か、補助事業かあいまい。 ・補助金制度によりコスト削減がされていない。 ・民間路線の弱者への補助も必要ではないか。 ・1日あたり400名強の乗車率を上げるため料金を下げてみてはどうか。 ・必要な路線や時間がニーズにあっていないのではないか。 ・高齢者、障害者等にバスの運行があったほうが良いが、コスト面から半分は民間化出来ないか。 ・事業の赤字を市が負担する必要性があるのか。その地域に住んでいる利用者への負担を検討すべきである。 ・料金の割引や補助券等の利用は出来ないか。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善が必要だが交通不便地域を考えると続けるべき。民間が出来ないから市で行っているのではないか。 ・企業努力と市民の公平性を両立できるように努力すべきである。 ・契約内容の再検討を。 ・特別乗車数が多いのではないか。 					

事業仕分け評価結果

事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）

不要

- ・福祉目的か公共の足として考えるのか目的がはっきりしない。
- ・総合交通施策がないままでは不適切。
- ・採算を上げる努力は市がするのか東武がするのか。
- ・補助金の関係が不透明。
- ・償却費も分担し車種も市が関与し、車は企業所有となる点も説明がつかない。

民間化

- ・目的が総花すぎる。
- ・バスの整備について事業者との関係が不明確。いわゆる「足らずまい補填」となってしまうため、業者の経営努力が活かされない。根本的に見直すべきである。
- ・路線の整理を。

市（改善）

- ・地域性を考慮すると公が担う役割もあると判断したが、事業者に対して営業努力を求める姿勢も必要である。
- ・特別乗車対象者を含む受益者間で不公平感がある。補助金のあり方、民間バスより安い料金設定は見直す必要がある。
- ・バス会社との協定を見直し経営努力を促すべきである。
- ・高齢者の無料化は所得制限等見直しが必要である。
- ・段階的に民間事業としつつ高齢者等への支援施策と切り分けるべきである。
- ・通常路線の民間バスと同額でいいのでは。民間がやらない不便地域を市が特別にやるのだから同額か、高くてもよい。
- ・事業目的を整理し、交通対策か、福祉目的か利用者の目線にたった運行プログラムにしないと無益の事業と化してしまう。
- ・朝夕に乗客が集中するためか1便あたりの乗客数が少ないのでバスの小型化を。
- ・過去にあった路線バスの代替なら必要性を感じるが、新たな設定では不要。

事業仕分け評価結果

事業名	1-6	事業名	駅前自転車対策事業		
担当課	道路交通課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	3		17	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前自動車駐車場は全て民間であり、自転車も民間とすべきである。 ・自転車利用者は鉄道利用者なので鉄道会社にも負担させてはどうか。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理の効率化を。 ・鉄道会社へ事業協力を求める。商店街との連携を図る。 ・保管場所の改善と保管手数料の引き上げ検討を。返還率を上げる努力も必要である。 ・トータルコストの収支を見据えて料金設定の検討を。 ・委託料の見直しを。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道会社、周辺店舗への負担を求めるべきである。民間との役割分担をきちんと見直す必要がある。防犯の視点を入れて総合的な視点で取り組むべきである。 ・撤去した自転車の引き取りは必ず求めるべきである。もしくは費用負担を求めるべきである。 ・地域性を考慮すると環境面からも自転車利用者へのサポートは必要である。 ・市だけでなく他の事業者等にも負担してもらう方向で交渉すべきである。建設コストについても市民へアピールする。 ・民間との役割分担を明確にし、民間にできることは民間にまかせるべきである。 ・鉄道事業者への負担を求めるためには、利用者を調査してデータを示して要望すべきである。利用料金の見直しが必要である。 ・施設設置にかかった費用も含めて利用者負担を見直す。 ・民間の動向をみて民設民営も検討。 ・行政に処分させるなら手数料をとる。（放置すると高くつくしかけ） ・全体としては効果的な取り組みをしていると思われるが、さらに保管業務について民間のノウハウを活かしたい。 ・基本は民間が担うべき（担える）事業である。（現行、黒字なのでやむを得ないという判断） 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-7	事業名	駅前自動車対策事業		
担当課	道路交通課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
10			11		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1	1		3		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が限られ不公平感がある。 ・維持管理費が高く、違法駐車対策としては中途半端である。 ・利用者の実態を把握する。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設（スーパー、銀行等）にも費用負担を求める。 ・委託料や契約方法を見直すべきである。 ・30分以内の駐車は無料でのよいが、延長時間の料金設定を見直すべきである。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台数からも受益者は少ない。存在させるのであれば管理は競争入札とすべきである。 ・駅に一時乗り場用スペースを設ければよい。 ・違法駐車を取り締まればよい。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有地であるが民間事業として対応可能と思われる。より効率的で収益性の高い駐車場事業とすべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料の全面的な見直し、競争入札の導入、委託費の大幅引き下げなどが必要である。 ・駅、周辺施設利用のための駐車なら応分の費用負担の交渉を。 ・短時間無料の考え方は路駐対策として理解できる。 ・トイレ設置は現立地で必要か再検討。駅のトイレを提供させるのも鉄道会社の負担方法のひとつ。 ・管理委託、体制の見直し、スリム化。 ・有人管理が構造上の問題があるなら設計変更コストも含めて考えてはどうか。 ・違法駐車を解消する目的であればある程度の駐車場整備は必要であることは理解できる。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1 - 8	事業名	防犯対策事業		
担当課	道路交通課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			13	7	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯の設置場所のデータベース化を早急に行い、施設管理、交換時期、回数等管理状況の把握を行うことが重要である。 ・ エリア内で競争原理を取り入れた契約方式にする。 ・ 維持費削減のためLED化を順次進める。 ・ 犯罪の未然防止になるので、民間との連携を。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受益者が最も多く、不要なものがない。 ・ 事業拡充の意味からLEDの交換を望む。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置基準の明確化、管理方法の見直しが必要。維持管理は公務員でなくてもよい。 ・ 民有地に市民の税負担で防犯灯を設置する根拠が不明確。官民の分担を明確化すべきである。 ・ 管理体制の見直し、CO₂対策の強化に力を注ぐべきである。 ・ 市民の安全安心の確保はまちづくりに欠くことはできないが、地域住民の自助も必要。以前は町会独自で取り組んでいた経緯があることを踏まえ、再度地域住民との協議も検討する価値はある。 ・ LEDの導入など省エネ効果や交換の人件費も含め、事務の効率化は必要である。 ・ 正職員の仕事と町会にお願いできる仕事の再見直し。設置要望と球切れの一次対応を町会にお願いしてはどうか。 ・ 光害に配慮し器具や設置場所は吟味のここと。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1 - 9	事業名	生活道路整備事業		
担当課	道路交通課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
		1	11	8	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
				5	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の都市計画が不十分。予算不足。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の優先順位をつける。 ・道路拡幅ありきの事業の進め方は見直すべきである。狭隘な道路を一方通行とするなど発想の転換が必要。 ・対象道路の選定基準を明確にする。 ・配置人数や予算の見直しを。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の具体的デザインが明記されていない。まず実態を把握し、正確なデータの提示を。 ・年度により予算額のバラつきが大きいため、長期計画の一部分ということがわかる情報提示もあるとよい。 ・他の道路事業と統合できれば人件費改善になる。 ・要望対応の計画だけでなく、目的に沿うようタイムリーに調査し積極的な事業計画にすべきである。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政的な厳しさが実感できる事業。他の事業を根本的に見直し、道路整備にある程度投入できる状況でないと、まちとしての発展は期待できない。 ・まちづくりが終わっている都市とは思われない中でこの事業費は異常に少ない。将来に向けたまちづくりにも財源を確保できるよう抜本的な行財政改革が必要。 ・この予算、この人材では十分な修繕ができないのは明らか。仕分け作業を通じて予算、人材の配分を見直すべき。 ・市全体の優先順位、ウェイト付けが十分ではない。道路パトロールなど郵便局に協力を求めてもよい。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-10	事業名	交通安全施設整備事業		
担当課	道路交通課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			3	17	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			2	3	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善） ・対象施設と計画を明確に。</p> <p>市（継続） ・安全のための支出は削るべきではないが、各種安全施設の単価見直しが必要である。 ・担当職員の業務が多岐にわたっているため、職員の配置、作業分担の見直しが必要である。 ・予算の関係上、要工事箇所の見送りが多いのではないかと。道路の安全のため計画的な管理を。 ・県警の予算と重複する点を調整することにより、効率的に施工できる事業があるのではないかと。 ・道路反射鏡の取り付け要望が叶い地域住民も喜んでいる。これからも市民の声を聞いて実施してほしい。</p>					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善） ・予算の関係からか、計画性に乏しく場当たり型の対応となっている面が見られる。 ・安全対策としての目標を持ち、計画的な整備をはかるべきである。 ・道路パトロールは専門の嘱託で対応させたらどうか。 ・公務員のスキルを現業に費やすのはどうか。 ・新設については維持が膨らむ結果になるので慎重に。 ・必要な予算、人員配置をするべきである。職員が外で行う作業はアウトソーシングではむずかしいのか。 ・通学路などの充実が市民にとって重要な事業であり、現状が維持管理主体では不十分。契約方法の見直しでコストダウンをはかりながら、維持管理から積極的整備へ変換を。 ・コスト意識を認識しつつ事業を継続するよう望む。 ・計画が明確に理解できない。現状分析、効果の指標化など明確にすべきである。</p>					

事業仕分け評価結果

事業名	1-11	事業名	学校給食事業		
担当課	学校給食センター				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	2		22		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの民間化について検討して欲しい。 ・正規職員の人数が多いのでは。人件費がかかりすぎ。 ・民間委託も可能だと思うが、アレルギー食対策など安心・安全な食の提供を考慮すると、現在の運営方法がよいのではないか。 ・完全に民間委託化した場合、給食費の支払が困難な児童に給食が提供されるか。一方で民間委託化した場合、給食費の不払いがなくなるとも考えられる。 ・民間委託可能な業務の整理や移行計画が必要である。 ・調理は民間（委託・臨時職員等）で、管理は市（正規職員）で責任を持って行ってもらいたい。 ・食器の見直し、施設や大型備品の改修に今後どう対応していくのか。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託が妥当と思われるが、直営のケースでも、短時間任用制度を用いるなど、効率化と臨時職員の身分安定、正規職員との格差是正を図るべきである。 ・調理については、夕方は落ち着くであろうことと、夏・春休みなど長期休暇があること等を考慮すると、フレキシブルな民間委託が望ましいと思う。 ・調理を民間にすれば、10～20%の経費削減は可能ではないか。 ・市は食育や管理などを行うよう役割を見直すべきである。 ・調理員に正規職員の必要性ゼロ。調理部門の委託化を。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-12	事業名	教育相談事業		
担当課	教育相談研究室				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
		1	9	14	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			1	4	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の予算不足により人員を増やすことができないなら、ボランティアなどをさがして欲しい。 ・正規職員1人、臨時職員3人は少なすぎるため、職員増を求む。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業は民間では馴染まない性質のものであるため、カウンセリング的なものは、今後も市で行ってもらいたい。 ・小中学校は子どもの成長に大事な時期であり、将来の犯罪防止、ひきこもり等の対策にも必要であるので、相談室の拡充を望む。 ・教職員に対する研修の拡充、内容の向上を望む。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談体制充実のためのデータ作成。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談は重要な位置付けであり、年々重要性は増す。庁内での優先順位の上位に置くべき事業である。 ・児童相談所等との連携が必要。協力体制の充実を図るべきである。 ・子どもにとって長期のケアが必要であることを考えると、臨時職員に頼った体制では不十分に感じる。 ・責任ある相談体制の充実に向け、臨時職員の配置や処遇の見直しが必要である。 ・児童・生徒の数から考えて、相談件数が少ないと思われる。教育相談のアピールが足りないのではないか。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-13	事業名	社会福祉協議会運営補助事業		
担当課	福祉課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
2	5	2	15		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
2	1		3		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の支出にあたり、人件費1人1千万円には驚きである。 ・補助金の使い道が不明確である。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉事業は果たして必要か。もっと検討すべきである。 <p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と社会福祉協議会との役割分担が不明確である。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の内容・事業と費用対効果がわかりづらい。 ・社会福祉協議会の会員募集、募金の位置付け、全体の事業費の大きさがわからない。 ・社会福祉協議会のあるべき姿がわからない。 ・社会福祉協議会の事業仕分けが必要である。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自財源を確保できる介護事業に参入していること等を踏まえ、いったん補助金を打ち切るべきである。 ・市の一部なのか、民間団体なのかあいまい。市でやることは市に返し、団体の自立を促すべきである。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全民間で行ってみてはどうか。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を支出している以上、社教の事務を精査すべきである。 ・社協のホームページがないなど、社協としてのあり方も疑問がある。 ・将来的には自立を促すべきである。 ・民間の非営利団体といいながら、人件費は全て市補助金では市役所と変わらない。 ・在宅サービスなど民間は補助金を受けずに行っているであろうことを考えると、不公平である。 ・事業内容に基づき、補助金を精査すべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-14	事業名	介護予防一般高齢者施策事業		
担当課	健康増進センター				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			11	13	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防事業は、今後の高齢化に対して必要な事業となると思う。 ・ 今後想定される急速な高齢化に対して、市は事業実施からシステム作りへシフトし、事業は民間が行うのがよいのではないか。 ・ 先行き何年で民間委託するか目標を定めるべきである。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市は司令塔的役割を目指してほしい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今の介護保険の中に入れることがいいのか疑問である。 ・ 介護予防に関する仕組み・メニューを決めるのは行政で、実施は民間が行うのがよいのではないか。 ・ 今後の高齢化を考慮すると、量的な対応には不十分である。 ・ 介護予防に対する積極的な取組みについては評価するが、行政主導ではなく、市民主体の取組みとするよう、手法の改善が必要である。 ・ 将来的には、行政が関与しないことを視野に入れるべき。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防施策に関するシステム作りに職員は専念し、実施は包括支援センターに任せ等検討する必要がある。 ・ 現在実施している介護予防メニューはすばらしい。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-15	事業名	感染症等予防対策事業		
担当課	健康増進センター				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
		20		4	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
		4		1	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症は、地域ごとの線引きができないため、広域で検討すべきである。 ・予防接種は、市単位ではなく、全国的に一律に実施すべきものと思う。 ・接種率を向上させないと感染症予防の効果が薄い。 ・予防接種に対しては、国で負担金を支出すべきである。 ・費用負担については、困難ではあるが国・県へ働きかけるべきである。 ・新型インフルエンザ対策は、国や県単位で総合的に行う必要があると思う。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ対策として、本年度のみ、小・中・高・大学生の予防接種に補助金を支出してはどうか。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施は市で問題ないが、制度作り、費用負担は国ですべきである。 ・インフルエンザ対策については、市民への情報開示が必要である。 ・感染症予防対策は、本来、国が責任を持ってやるべき事業だと思う。 ・市は、正確な情報提供や相談等きめ細かなフォローの部分を行うべきである。 ・健康上、重要な事業が各市町村の裁量に委ねられているのは疑問。国の制度を明確にすべきである。 ・保健所の設置・運営主体が事業主体となって広域的に実施すべきである。 ・財源は、地方交付税に含めるのではなく、明確に国が負担するよう改善しなければならない。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策は、明確な国の財政負担で行うのが望ましい。 ・新型インフルエンザ対策と通常の予防接種事業の並行業務は、今後庁内の事務負担の確認を行う必要がある。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-16	事業名	青少年健全育成事業（地域子ども教室）		
担当課	生涯学習課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	5		17	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1			4		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間で実施した方が子どもたちものびのびできるのではないか。 ・民間でも十分できる。私の先輩は主婦自ら動きママさんチームを作り、子どもたちの居場所を作り上げた。 ・土日よりも平日の活動を多くすべきである。 ・目標を数値化し、明確にすべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業としてはぜひ続けてほしいが、運営方法等について再検討が必要である（子どもたちに商品を作らせて、市民に寄付を募る等）。 ・土曜、日曜に集中しているが、平日に実施すべきである。 ・放課後児童クラブとの違いがよくわからない。 ・総論としてはよいが、各論としては具体的な効果が不明確であり、全児童対策の一環であればもう少し参加者が増えるよう努力すべきである。 ・地域の方の義務感が増えているのではないか。 ・地域によって交流が少ないのではないか。 ・高齢者福祉の一環としての捉え方も必要であり、組織横断的な再検討が必要である。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの再生は、子どもの教育上、また、犯罪防止やまちの活性化という点で効果があり、より一層推進してほしい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的と実情に違いがあるのではないか。 ・事業効果が明確でない。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始3年が経過しているが、分析が弱い。負担額（4000円謝金）の見直しも含め検討すべきである。 ・国の補助金があるから国の指導どおりやっている面が見られ、事業としての実質に乏しい。市として独自の取組みが必要である。 ・国や県などの補助金がなくなったら、この事業をやめるのかどうか。放課後児童対策として有意義だと考えるが、効率化やその後の改善が必要と考える。 ・今までやってきた市民の草の根の取組みを市が事業化することによって芽をつぶしていないか。そちらを育てる方向のほうがよいのではないか。 ・きちんと成果指標を設定し、効果を評価すべき、そして必要であればきちんと充実すべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-17	事業名	成人式典事業		
担当課	生涯学習課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	1		17	5	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
3			2		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式対象者の個人情報のみ市がコントロールする。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入してきた新成人には、式典の内容に魅力がないのではないかと（知らない先生の話も聞いても困るのではないかと）。 ・行政がメインの式典になっているため、実行委員会形式にして新成人が企画するなど、押し付けの式典とならないよう実施方法を工夫し、新成人が喜んで参加したいと思えるようなものとなるよう検討すべきである。 ・成人式は一生に一回のものであり、感動やよい思い出となるよう、これからの成人式のあり方について考えるべきである。 ・地域の友人、恩師等が一堂に会することは少ないため、式典は続けるべきであり、成人になった自覚を強く促す内容としてほしい。 ・主催者側と出席者の間で成人式の目的にズレがあるのではないかと。各卒業中学単位での実施を検討してはどうか。 ・時代は変わっており、成人式を行うべきかアンケートを実施してはどうか。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新成人の門出を祝福する行事として必要であり、必ず実施してほしい。 ・問題がなければ、今の成人式でよいのではないかと。 ・7割が参加するのであれば継続、ただし、成人としての意識をどのように育成するか検討すべきである。 ・これを期に市政に対する意識調査や方針の説明を検討すべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）

不要

- ・行政としての目的が曖昧である。現在では、同窓会、着物着用が主目的となっているため、ゼロから必要性を検討し、その上で、行政主導が必要であれば、再構成すればよい。
- ・形骸化したイベントはゼロベースで考えるべきであり、必要であれば、現状の予算規模なら寄付を募って必要と感じた人の責任で運営することは可能である。市域の企業にも消費者・生産者が増えることを意識する働きかけがあってもよい。
- ・一度廃止して市民が祝ってあげたいと言えば新規事業として実施する。
- ・新成人が自分たちでやりたいといえ、行政としてバックアップしていけばよい。

市（改善）

- ・若者が一堂に会する場はなかなかあるものではない。出席率も70%であり、本格的な議論を市民とともに進めていくことも必要であり、時限的に進め、見直し作業をすることが求められる。
- ・当面、市主催、実行委員会運営形式で対応してはどうか。
- ・「通過儀礼」として認知されていると考える。内容については新成人の声を聞くなど富士見市の考え方を明確にすべきである。

事業仕分け評価結果

事業名	1-18	事業名	ごみ収集事業(直営・委託)		
担当課	環境課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			24		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	1		4		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営も残す必要がある。 ・明確な事業ビジョンを全く持っていない。 ・退職前の高給職員ではなく、若くて動ける人が収集作業にあたるべきである。 ・直営と委託のバランスを見直すべきである。 ・委託事業の割合を高める必要があると思う。 ・担当者が事業内容（コスト、業者の履行状況、効率化面等）を熟知していない。前例踏襲事業そのものである。 ・職員の退職を待たず、配置換えか、即時に民間委託すべきである。 ・支出だけでなく収入も明確にすべきである。現時点で平成20年度のごみ量が出ていないのはおかしい。 ・随意契約は馴れ合いが生じるので競争入札にしてほしい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営で行う理由は特にない。職員は分別や発生抑制推進の取り組みにあたる重要な役割があるだろう。コストと効率化の意識をもって事業を行うべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託を推進しつつ、収集業務全体の効率化に向け、事業全体の組立てを見直すべきである。 ・コスト面での意識と実務的な分析、検証を行い、費用対効果の高い委託業務化を目指すべきである。 ・直営部分は退職を待たずに委託へ。事務の現状把握と分析を行うべきである。 ・行政が行う事業として必要が高いが、市民の貴重な税金を預かっているという意識が欠けている。配置換えし早急に民間委託をはかるべきである。委託方法は工夫し、コストの面から割り出すべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-19	事業名	ごみ減量化推進事業 (集団資源回収実施団体奨励)		
担当課	環境課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
15			9		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
2			3		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル回収方法の改善と資源活用を図ること。 ・経済市況によるリサイクル資源の相場変化に対応していないように思う。 ・一次的な効果は達成できたと思うので、次の段階に進むべきだが、補助はいったん廃止で検討してほしい。 ・奨励金を支出する妥当性の確認が出来ないようであれば、事業として不要である。 ・団体に奨励金を支払う(1k, 5円) ことで衛生組合に支払う額がどれだけ減るか疑問である。 ・ごみの分別を市民が行っているのだから、市で収集し売却して、収入を財政注入するシステムにすべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の事業目的である、ごみ減量化に対して目的と成果を示して行うべきである。評価はあくまでごみの減量数値で行うべきである。 ・リサイクルのきっかけを作るには有効である。 ・子どもにリサイクルの必要性を教えるという観点から継続を望む。但し、団体が限定していることと、業者との関係が不透明である。 ・ごみの量が業者任せでチェックされていない。 ・団体への補助金が目的ではない。奨励制度の中だけで考えるべきでなく、リサイクル社会の動向の中で再検討すべきである。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨励金があるからリサイクルするという時代ではない。3R(リサイクル、リユース、リデュース)の趣旨を理解してもらおう施策に変えるべきである。 ・ごみの減量化にはつながっていないと考えられる。 ・約20年経った事業なので、収集コスト、市況価格、計量の適正化などをデータを基に検討すべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は各種団体の協力や関係があるので要改善だが、早期に抜本的見直しをはかる必要がある。 ・ごみの分別収集体制やリサイクルの進展などの状況変化を踏まえて、より効果の高い手法に改善すべきである。補助対象を売却代金の少ないもの（単価の低いもの）に絞ることを考えたい。 ・発生元で引き取ってリサイクルするしかけを評価し進展させることで、営業ベースで循環し税投入は軽減できる。 					

事業仕分け評価結果

事業名	1-20	事業名	ごみ減量化推進事業 (生ごみ処理機購入費補助)		
担当課	環境課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
22			2		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
5					
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果に対する人件費の比重が大きい。 ・ごみ処理費全体に対するごみ減量の効果は限りなくゼロに近い。 ・事業制度が中途半端。目的と実行内容がずれている。 ・全世帯対象という考えは現実的ではない。制度導入時は世間の動向に押されてのことではなかったのか。 ・平成19年度ベースで全生ごみの0.01%しか効果を上げていない。有効なごみ減量にはなっていない。 ・PR不足だけでなく生活環境の変化から必要性が少なくなっている。有機無農薬栽培とのタイアップが必要である。 ・本当に有効な事業とするなら導入分を検証し目的に沿っているか数値で評価すべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間254万円かかっているが、7万円のごみ処理費削減結果は明らかに高コスト。 ・市主導で農業政策も含め検討を。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの受給者は自ら民間の販売されているものを購入することとし、減量のための事業は別途検討していくべきである。市民啓発は別の面で行うことができると思う。 ・継続する場合は、生ごみ有料化とセットとすべきである。 ・発生した最終物の処理責任を明確化すべきである。 ・費用対効果を考えると、あまりにも効果が少ないと思われる。 ・42,000世帯が対象で年間30件では効果はでない。廃止して別の施策を考えるべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-1	事業名	サンライトホール管理事業		
担当課	市民課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
15	2		6		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
4			1		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴瀬西交流センターと機能が重複している。 ・ 近隣住民の利用だけで、今後の稼働率もアップしないなら、税金を投入する価値なし。 ・ 駅前という立地条件を活かし、保育所とする。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸し館業務だけをするのであれば、民間に任せる。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸し館業務について、鶴瀬西交流センターと併せて施設のあり方や効率化を考える。 ・ 一時保育など空スペースの有効活用をする。 ・ 利用時間やコスト面での見直しが必要である。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の同種の施設（コミュニティセンター、交流センター）と機能が重複している。 ・ 費用対効果や代替施設があることを考えると施設の転用をする。 ・ 利用率の低下は、市民からの「必要ない」という無言の回答である。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合支所化を検討するのであれば、今後、地域ごとに同種の施設の配置状況を十分考慮すべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-2	事業名	市民葬祭事業		
担当課	市民課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
19			4		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
5					
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域斎場が開設し、低額で利用できるため、廃止すべきである。 ・健保（国保）の制度による補助の周知をする。 ・限定的な葬祭の補助ではなく、死亡者を対象に広く見舞金などの補助をする。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧困層のためにも葬祭事業は多様化すべきである。 ・事業の目的を明確化し、市民のための制度としてほしい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域斎場の整備等による税投入が既になされているため、この補助制度は手段として不適當である。 ・死亡者の数%しか利用者がいないので、不要なサービスへの人件費がもったいない。 ・補助金額より人件費の方が高い現状を考えると、事業をやる意味がない。 ・今までは、互助として一定の役割を果たしてきたが、広域斎場の開設に伴い役割は終わった。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-3	事業名	出張所窓口事務事業		
担当課	市民課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			22	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I T化、巡回化、公民館との併任などによる職員の削減・事業の効率化が必要である。 ・ 業務の内容と質を考えると人件費が高すぎる。南畑出張所は他の施設と統合する。 ・ 利用者が少ない施設は、曜日や時間などを設定し改善してはどうか。 ・ 窓口サービスの定数モデルを再検討すべきである。 ・ ふじみ野出張所は、時間延長や窓口サービス改善が必要である。 ・ ふじみ野出張所は、ふじみ野交流センターと統合する。 ・ 駅の近隣出張所に関しては、近隣市町との共同出張所の検討が必要である。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 便利で利用価値があり、現行どおりでよい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふじみ野出張所は、利用者ニーズに応えるために面積などの問題解決をし、南畑出張所は、閉所するか、地域住民が利用しやすいふれあいプラザへの移設を検討する。 ・ ふじみ野出張所、南畑出張所の位置づけをもう一度市民の意見やニーズ、地理的条件、交通条件を踏まえて、民間委託などを検討する。 ・ 基本的には市でやるべき業務なので、効率化だけでは議論できない。統合や総合支所化も含めて改善すべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-4	事業名	公園・緑地維持管理事業		
担当課	まちづくり推進課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			21	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公園の特徴を出していき、それを市民に伝えていくことが必要である。地域の公園は地域で守るという意識に職員側が変わる必要がある。 ・ちびっこ広場・多目的広場の維持管理は、各町内会、子ども会との協働で実施する。 ・地域の市民と話し合いの場を持ち、公園の維持管理における今後の方向性を決めていく。 ・公園緑地計画をもっとオープンにすべきである。シルバー人材センターの収支決算内容等をよく精査すべきである。 ・公園の維持管理上できることは地域の人々に任せることで、その地域の地域力を高めることができる。 ・遊具点検など高度な技術が必要なものは専門家に任せて、それ以外は民間委託や指定管理者とする。 ・シルバー人材センターに委託をすることは、高齢者の労働の場を提供する観点からも必要だが、さらにコスト削減の努力をすべきである。 ・公園が143箇所あることを知らなかった。もっとPRすべきである。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターであれば、公園管理を任せられる。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的で専門的な仕事は、高コストでも民間に集中して投資し、一方そうではない仕事は、住民自治という観点で公園ボランティアの運動を進めていってはどうか。 ・公園の維持管理を一律的に行政サービスとして提供していくのではなく、市民協働の方向で事業内容の見直しが必要である。 ・シルバー人材センターの活用でもよいが、市民に公園の管理を任せ、愛着を持ってもらい市民協働につなげていくべきである。 ・業務委託については、入札などを検討し、価格の妥当性を検証すべきである。また、143箇所の公園をグループ分けし、管理手法を工夫することが必要である。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-5	事業名	上水道事業		
担当課	水道課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
		5	17		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	0.5	0.5	4		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に最低限必要なものなので料金の幅があること自体が良くない。平均化するためにも、広域で取り組む必要性の検討を。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の見直し、滞納者への対応等、安定した事業としていく。 ・湧水を飲料水に活用できないか検討すべきである。 ・逆ざや解消に向け、将来的には値上げもやむを得ない。 ・原則独立採算。料金やメンテナンス等、将来へのロードマップを見通すこと。 ・留保資金は赤字に充当せず将来の施設費に充当すべきである。 ・滞納者には6ヶ月も給水する必要なし。水道料金は上げてほしくない。 ・民間委託、指定管理者制度の検討。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化／国・県で実施（※判断資料不足のため1つに絞れず、どちらかとした）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一段階として、現状について説明をし納得してもらえる努力をし、第二段階としては、民間のプロポーザル（企画提案）も求める必要あり。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後料金の値上げが不可避との話であったが、水道事業の現状（今後の設備更新計画や財政）をもっとわかりやすく説明できるよう整理が必要である。 ・基本的には経営努力をして収益率を上げていくべきであり、まずは未納をなくす努力をすべきである。 ・設備の大規模改修に要する経費を少しでも削減できるよう工夫すべきであり、改修と併せ施設の統合も考えていく。 ・料金値上げについて市民に説明を尽くし、市民自身の問題として考えてもらうようにする。 ・中長期的な財務改善計画の策定が必要、市民に対しても明確な説明を。 ・料金の改定、滞納の対処等見直しを。ただし未納を促すコストが回収金を上回らぬように注意。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-6①	事業名	勤労者福祉事業（勤労者住宅資金貸付）		
担当課	産業振興課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
18	1	2	1		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
4	1				
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績も無く、PRにも力を入れていないことから全く必要性を感じない。 ・預託金を他のサービスに向けるべきである。 ・効果が薄い。金融業者のメリットの方が大きい。 ・人件費がもったいない。 <p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労者は国・県の一律サービスであるべきである。 ・重複制度があるので、一元化した方がよい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知徹底する前に、ニーズが無いことは不要。 ・預託金制度そのものの政策に意義を感じない。 ・まずは徹底的にPRしてみて、それでもダメなら制度自体の問題。国や都道府県にも同様の制度があるのなら、国や県にシフトしていく必要もあるのではないか。 ・国のセーフティネット貸付けと重なるのであれば、一旦凍結し、他の選択肢が無い場合再開してはどうか。よって、現状は不要。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の現在の能力、スキルでは、いっそ撤退すべきではないか。ニーズの把握ができていないなど、銀行がやった方がうまくいくのではないかと思う。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-6②	事業名	中小企業融資事業（中小企業緊急資金融資）		
担当課	産業振興課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
13	1	4	4		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
3	1		1		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別の事業費に振り向けるべきである。 ・人件費がもったいない。 ・金融機関に任せればよい。 <p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に対するサービス精神がない。 ・国・県の制度の中で不安なく融資が受けられるようにしてもらいたい。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度が低い。広報不足。中小企業に直接声掛けをしてもよいのではないか。 ・商店会、商工会等との連携を図るべきである。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰も求めているないので不要。 ・預託金制度として本事業を実施するのは無理なのは。資金融資を求める企業ニーズは高いはずなので、助成手段を変えるべきである。 ・年度内は出来得る限りの周知をし、その結果をもって判断しては。しかし、現時点では不要と言わざるを得ない。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援施策を否定するものではないが、相談が寄せられていない、利用実態がないことから、（市として）融資には関わらず、金融機関に任せてはどうか。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは徹底的にPRしてみて、それでもダメなら制度の問題。国や県にも同様の制度があるのなら、国か県にシフトしていくべきでは。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-7	事業名	南畑ふれあいプラザ維持管理事業		
担当課	産業振興課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
3	3		15	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	1		4		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興であれば利便性を、公民館事業であれば整理統合を、と考えればあの場所には不要。 ・農業振興のビジョンを考える必要がある。 ・公民館と施設が重複している。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消は市でなくてもできる。加工・直売所、農業体験等農業発展のために民間の力を利用すること。 ・案内図ひとつをとってもわかりにくい、市の職員はPRが得意でない。情報発信や直売等の収益事業も含めて株式会社化してプラットフォーム（基盤的な）機能を担っていた方がよいのではないか。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状は農業と全く関係ない機能である。本来の目的として見直し、富士見市の農業活性化を図ってほしい。 ・地産地消に貢献していない。公民館と同様ではない特色を出す工夫が必要である。 ・富士見市の農業を守り振興させるため地産地消をキーワードに、調理室を活用したPRなど利用方法の改善を。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に喜ばれ、更なる拡充及び本来の目的達成に期待する。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興や地産地消を目指すなら役所がやらないでよい。民間に任せればスーパーに置いてくれる。箱物の観点に立った場合は要改善、転用を。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡がりのある利用ができる働きかけを（民間活用、体験施設、アンテナショップ）。 ・施設ありきの事業であり、事業の目的と手段に妥当性を欠いている。施設の活用は、他のコミュニティ施設との再編成や市内での最適配置を考えていくべきと考える。 ・農業政策として、真に必要な『場』としてうまく活用すべきである。 ・農業関係者と市民のニーズを把握すべきである。 ・農業振興は重要だが、箱物がなければできないかというところでもない。ただ、施設を農業以外の他の用途に転用する方法もある。 ・農業で実施するなら、農業政策との連携が重要。農業体験を子どもができるような施設へ変えて、教育上で活用する方法もある。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-8	事業名	コミュニティ施設維持管理事業 (※市立集会所と地域立集会所を分割)		
担当課	協働推進課				
市民判定人評価結果					
	不要	民間	国・県	市 (改善)	市 (継続)
市立	1	2		18	1
地域立	2	8		11	1
事業仕分け人評価結果【参考】					
	不要	民間	国・県	市 (改善)	市 (継続)
市立		3		2	
地域立	1	2		2	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>【市立集会所】</p> <p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用目的を再検討する。箱物を総合的に統合すべきではないか。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会・地域で維持管理してこそコミュニティ作りに最適。何でも市でやる時代ではない。同じ用途で公民館やコミセンもある。同じ貸館業務の見直しを早急にやるべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のメンテナンス費用を含めた経費と地域立集会所への補助率の見直しが必要である。 ・集会所をつくることで市民のコミュニティの輪が広がるのだろうか。数があればいいというわけではなく、明確な意義を持って続けてほしい。 ・各自治会にコミュニケーションを図るうえで必要があるが、改善が必要。 ・効率的な運営のため、資金配分の集中が必要ではないか。 <p>【地域立集会所】</p> <p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような機能や近い場所にある他の施設に統合できるのではないか。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけ乱立した原因は何か。 ・効率的運営のために資金配分の集中が必要ではないか。 ・各種施設の整理統合をしてほしい。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の施設との共用化。 ・各自治会のコミュニケーションを図る上で必要があるが、改善が必要。 					

事業仕分け評価結果

事業仕分け人の意見（評価作業シートから）

【市立集会所】

民間化

- ・自発的なコミュニティに運営等を任せるべきである。
- ・地縁関係団体を結成して、そこに売却を。
- ・他所管の貸し館的利用の施設も含めて、全市規模での再編成の検討が必要だが、現在一定程度充足していることからすると、市立集会所を民間化し、地域立集会所と一律に対応すべきと考える。

市（改善）

- ・住民自治力を育むソフトウェアに今後投資を変えて、自己管理をしてもらう。
- ・コミュニティの活性化は大切だが、市立集会所の建設がほぼ完了という状況で、他のコミュニティ施設も多数あることから、他施設との統合も含め検討すべきである。
- ・市立にしても地域立にしても、計画的に各施設の距離等を検討の上、適切な配置に努めるべきと考える。

【地域立集会所】

不要

- ・地域コミュニティ施設の維持や管理は地域の人々に任せるべき。一方的な助成の垂れ流しの印象は拭えない。

市（改善）

- ・事業の見直し。施設整備事業への補助率を現行4分の3から、せめて2分の1に。
- ・地域立を何でも建ててしまうのもどうなのか。ある程度の基準を設けて行政がコントロール、コーディネートしていくべきではないか。

事業仕分け評価結果

事業名	2-9	事業名	市民文化会館維持管理事業		
担当課	協働推進課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	12	1	9		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
	3		2		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業者を見直し、自慢できる施設として活用してほしい。 ・建ててしまったものは仕方がないので、なんとか努力してほしい。 ・民間で引き受けるところがあるか。 ・天下りはやめてほしい。民間でより良いサービスを。 ・入札制度をしっかり行う。 ・経費削減し、市民の立場に立った政策にしてほしい。市民の視点が抜けている。 <p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・県で実施することで、より効果的に運営が良くなるのではないか。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設費に60億円かかっていることを初めて知った。そこまでして建てる必要は無かったと思う。建ててほしいという市民の声はどこの声なのかという疑問も感じた。 ・指定管理先の施設管理公社も天下りの疑惑があるように感じた。 ・競争入札による管理業者の選定が必要になるのではないか。 ・施設管理公社の経費削減の工夫。 ・文化は収支だけではない。 ・市民文化会館への交通機関を充実させてほしい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の中身の改善が必要。幅広く公募し民間へ売却。 ・施設としてはかなりレベルの高いものと想像する。ソフト面であるイベント運営力や企画力が委託先に期待できない。 ・指定管理の契約が切れた後も、続ける必要性を感じない。指定管理を続ける限りは自立できず税金の垂れ流しになる。売却すべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細やかな改善努力が続けられていることは評価に値するが、指定管理者制度の利点を十分に活かすため、平成23年4月以降は公募とし、競争性、透明性を高めるべきである。 ・市民協働で運営を行っており、表彰も受けていることから文化振興という目的では成功していると言え、その努力は十分評価できる。ただ、全国でも指定管理者制度の問題が指摘されているように、市が100%出資の公社が運営を行っていることについて、それをもって悪いとは言わないが、一歩進んで民への委託等を含めた改善方法を検討していくのがよい。すぐにではなく将来的に民営化という意味で要改善とする。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-10	事業名	ふるさと祭り推進事業		
担当課	協働推進課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1	3		18		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1	1		3		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会状況が悪化している中、税金を投入してまでやることはない。地域の祭りに参加するなどの方法もあるので、市民の自主に任せ、市で何でも行う状況ではない。 ・市で関わっている祭りを拾い出し、全課で目的、対処を考える。事業費の公表を。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工業者、農業者団体の自主的開催にすべきである。 ・市のシンボルの無い祭りは市民にとって意味がない。 ・年々つまらなくなってきた。職員ではあてにならない。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りは市民の娯楽や発表の場だから、このまま行っていくべきだと思う。しかし、4課でやる必要は無いのではないか。3つの祭りを統合して行っていることが大変ならば内容を見直せばよい。 ・市民参加の交流を深めるうえで必要性高いが、改善が必要である。 ・2年に1度でもいいので花火をあげてほしい。市民が本当に必要としている祭りを考えてほしい。 ・役所関係者はもっと祭りをリードする立場をとるべき。地元商店街、サラリーマン他関係者と一緒になり、現場に入り込むべきである。 ・人材集めの工夫が必要である。 ・市民をサポートするような形での改善を。 					

事業仕分け評価結果

事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）

不要

・アウトプット（事業の具体的な活動実績等を測る指標）がしっかり導き出されるように目標設定を。

民間化

・お祭りは庶民のものだ。彼らの手に渡し成立しなかったら不要な事業なのであり、継続不能なお祭りということである。住民の自立心を育てたい。

市（改善）

・祭りを統合したことにより、事業の効率化には寄与したかもしれないが、目的が見えなくなってきているように感じられる。補助金については時限設定が必要である。

・市主導の祭りのやり方から、自主的な地域の取り組みに移行させていくべきである。

・祭りの目的が不明確。市で実施している祭りを全て整理し、目的が似ているものを統合するなどして効果的なものとなるよう工夫すべきである。

・祭り3つを統合したことで目的がぼやけてしまっている。祭り自体はコミュニティ活性化や産業振興の意味でも大切だが、目的をある程度しぼるのも必要ではないか。

・祭り自体はもともと市民が中心となってやるべきものであるため、市民の参画を一層促して、手作りの祭りにしていくといったように、住民協働の基点として考えていくことも重要ではないか。

事業仕分け評価結果

事業名	2-11	事業名	子どもフェスティバル開催事業		
担当課	鶴瀬公民館				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1	1		13	6	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1			4		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供にかこつけて慣習でやっているとしか見えない。900万円も掛けて子供にツケを残すことになる。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの子供が参加しているので、なくなってしまうのは淋しい。民間委託で何とかできればいいと思う。 ・実行委員会に若い世代が関わられるような見直しを希望する。 ・市の思いが強すぎる。それが子供や市民に伝わっているかの資料がないので判断できない。 ・運営、子供の参加、予算、実行委員会の形成について総合的に検討すべきである。 ・ふるさと祭りの中で実施できないか。 ・ふじみ野、みずほ台周辺の住民の参加があるのか疑問である。実際は、一部の人の関わり、参加が主体となっている。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も子供のために子供によるイベントにして欲しい。 ・こういった事業には青年の力は欠かせないため、市と公民館、そしてPTA、子ども会などをサポートする大人達と青年達が事業を進めることが大切である。 ・民間化してしまうと子供が主体となる祭りをやるのは無理である。子供が受身のお祭りが多い中、子供がステージに出たり、お店を出せるのはいいと思う。 ・大人が子供と協働して地域づくりに参加する機会をつくることは行政の役割である。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の祭り、地域の祭りとの差別化が薄い。達成感が子供ではなく、実行委員会側にあるのではないか。ゼロベースで目的、目標、ビジョンを考え直す必要がある。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会に他の収入がないのであれば、業務委託の方法をとる必要性は低い。他の祭りと比べれば、目的、手段は明確になっていると感じられる。 ・事業の意義はあるが、予算的には厳しくなっているので、収益を上げるための工夫が必要である。 ・参加者も多いので、事業は継続すべきである。ただし、実行委員会の自立を促し、収益を上げて資金の自己調達を図っていく必要がある。 ・子供たちの参加率が高まることを評価につながることを考えると、祭りの中身の質向上と子供達自身の手による祭りとする必要がある。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-12	事業名	平和・憲法啓発事業		
担当課	鶴瀬公民館				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1			9	11	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			3	2	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のイベントの1つのセッションとして実施する。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピースフェスティバルの効果と各学校に対して行っている啓発事業を重点的に進める効果の検証が必要である。 ・やり続けなければならない思いが強すぎ、コストがかかりすぎる。学習は本や映像、市民のボランティアでもっと工夫がほしい。 ・広島への派遣後のレポートや体験話者の体験等をもっと広げていく方がいいのではないか。 ・内容が戦争や平和というなかなか興味が持てない題材にも関わらず、多くの方の参加があり、とてもよい事業だと思う。しかし、市の予算では足りず、カンパが必要ということで、市があまり力を入れていないように感じた。 ・公費で職員が広島に行く必要はない。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと市民が参加しやすいような工夫が必要である。 ・費用は少なく、方向性もよいのでこのまま続けて欲しい。しかし、思想のチェックは必要である。 ・キラリふじみの会場費は費用減免できないのか。 ・PR不足を感じる。もっと全市民に平和の大切さを浸透させていく必要がある。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体に比べ独創的な取り組みであり、各事業の組み合わせに工夫が見られる点は評価したい。だが、ピースフェスティバルにどうしてもウエイトが置かれ、マンネリ化しやすい点に注意が必要である。 ・ピースフェスティバルにかかる経費を体験話者、平和学習会拡充に当てるべきである。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに地に足のついた事業として継続と広がりを期待したい。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-13①	事業名	公民館学級講座等開催事業		
担当課	鶴瀬公民館				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			18	3	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1	1		3		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の必要性を検討した上で、必要と思われるものを具体的な重点事業とすればよいのではないかと思う。 ・必要だと思うがやり方の改善が必要である。 ・貸館業務としての面しか見えてこない。 ・職員と市民が一体となって学習できるとよい。 ・公民館は、地域のサークル等の学習を支援する役割でいいと思う。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のリーダー養成を考える上で講座は必要である。地域に種をまき10年、20年後に目に見える成果となる。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全面的に事業の見直しをすべきである。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の人件費分を民間化した方がより充実した内容になる。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン講座など事業によっては民間委託し、受益者負担も求めるべきである。 ・他事業と重複しているものが多いと思われ、事業の整合性の確認が必要である。 ・幅広い活動、行政としての新たな役割を意識している点は評価したい。ただ、事業対象者を絞り込む必要がある。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-13②	事業名	公民館施設維持管理事業		
担当課	鶴瀬公民館				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			19	2	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
			5		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整理統合を考える。 ・職員の適正配置について検討すべきである。 ・夜間、休日の管理がシルバー人材センターでいいのか再度検討すべきである。 ・公民館職員は、市民に目を向けるべきである。公民館を利用してもらうにはどうすればいいか市民目線で考えること。委託ではなく職員（出張所職員も含め）でローテーションをして常に窓口に立ち、市民に顔が見える関係をつくるのが大切である。 ・建物にかかる維持管理費を捻出するための知恵を出す。 ・民間委託、指定管理者による管理とすべきである。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域委託、地域との協働を検討し、また、使用料の受益者負担を再検討すべきである。 ・市内の全公共施設（約90箇所）を地図に明記し、対象者を整理して「館」の選択と集中を図るべきである。 ・夜間、休日の管理がシルバー人材センターでいいのか再度検討すべきである。 ・施設間の役割分担を整理する必要がある。 ・他の公共施設との機能重複があることから、開館時間の縮小や配置の再編成が必要である。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-14	事業名	在宅障害者社会福祉促進事業 (福祉タクシー利用料金補助)		
担当課	障害福祉課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1		1	18	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
1	1		2	1	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての福祉関連の手当てをパッケージにし、個別具体的に該当項目の確認をするべきである。 <p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 一律にサービス提供をする観点からも広域の検討が必要である。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> 不正受給を防ぐため確認が必要である。 所得、資産との関係を検討すべきである。 福祉関連の手当てをパッケージにし、本当に必要な人に必要な移動支援をすべきである。 タクシー券を減らし、その分循環バスの運行数を増やしたり、福祉車両の購入をする。 障害者の自立を助けるためになくしてはならないか確認が必要である。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行でやむを得ないと思うが、利用者が使用しやすいようにしてほしい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動支援について、誰を対象にして、どのような手段をとるべきか検討が必要である。利用者は、何らかの支援を必要としているが必ずしもタクシー券という形が妥当とはいえない。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状では、所得補償が目的となっており、本来の社会参加、社会生活圏の拡大という目的につながるのか疑問であり、ゼロベースでの見直しが必要である。当面、タクシーの10%割引制度をさらに引き上げるよう検討してみてはどうか。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業開始時点での理念と乖離している。目的に沿う中身の検討をすべきである。コンパクトシティの特性を活かすようにする。 障害者の移動の問題を抜本的に考え直し直接補助の手法を検討すべきである。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続せざるを得ないと思うが、将来的な事業費増加は明らかである。他の事業との関係を整理し制度設計をすべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-15	事業名	在宅障害者社会福祉促進事業 (自動車燃料費助成)		
担当課	障害福祉課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
11			9	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
4			1		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉サービス全体を見直し、本当に必要な人にだけ支援をすべきである。 ・ すべての福祉関連の手当てをパッケージにし、個別具体的に該当項目の確認をするべきである。また、複数の課ではなく1課ですべて行い、事務の合理化と経費の削減を図るべきである。 ・ 目的を達成するために、手法を変えて補助すべきである。 ・ 既に税上の減免などもあり、ガソリン代の補助が有効とは思えない。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉サービス全体の見直しが必要である。 ・ 対象者への制度周知を徹底する。 ・ 助成が本当に障害者の生活改善に役立っているのか検証をすべきである。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者が社会参加するためや介助者が障害者を支援するために本当に必要ならば継続する。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー料金の補助と併せて、障害者の移動支援施策の抜本的な見直しが必要である。経済的負担軽減であれば必要なところに手当化したり、特定のストレッチャー対応車両などの運行を事業化するといった方法も考えられる。 ・ 経済的負担減については、既に税上の減免などもあり、ガソリン代の補助が有効とは思えないため、ゼロベースで見直すべきである。 ・ 今後の財政負担増を考えると障害者福祉サービス全体について、個々の実態に応じてゼロベースで考えるべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不正受給を防止するための事務プロセスの工夫が必要である。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-16	事業名	こども医療費支給事業		
担当課	子育て支援課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
		16	4	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
		4		1	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療制度については、本質的には広域で扱う問題である。 ・権限と財源を地方に委譲しない限り、国が責任を取るべきである。 ・本来、国の施策であるべきだが、現状で困難ならば県に実施を要請していくべきである。 ・小学校修了時までの助成で十分。高額医療の助成について別途制度化の検討をすべきである。 ・医療に関しては国で示し、住んでいる地域で格差が生じてはならない。 ・子育て世代への支援というメリットより、財政圧迫というデメリットの方が高く、市では限界である。 ・国・県が動く間、市の負担は増え続けるという現状について、第3者委員会を設けての議論を望む。 ・国・県の拡大で実行した方が効果が高いのではないか。制度化を要望していくべきである。 ・中学まで無料は地域差があり、不公平感が大きすぎる。 ・全国统一で行うべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・小児は自分で病状を把握できないため、無駄でも受診する必要があるが、中学までは必要ない。 ・病気にならない生活習慣が必要ではないか。安易に病院にかからないような子育て支援事業も必要ではないか。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>国・県で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政負担の増加を招く制度の拡大は安易に行うべきではない。 ・国・県レベルで医療制度を根本的に考え直せば自己負担の投入も再検討されるべきである。 ・小児科医の減少による限られた医療資源を適正に配分するためには、一定の広域（医療圏との関係から県）の観点での検討が必要である。 ・不毛な自治体間競争はやめるべきである。 ・子育て支援策であるならば、評価指標を定めるべきである。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無い袖は振れない。財政を立て直してから検討すべきである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-17	事業名	高齢者（老人）入浴料助成事業		
担当課	高齢者福祉課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
17			4		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
4	1				
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉手当の一環としてとらえるべきである。 ・引きこもり等高齢者の対応については、ふれあいサロンや地区社協等から手を差し延べてもらえないか。 ・目的が高齢者の生きがい対策であれば、老人福祉センターが利用できる。 ・公衆浴場が鶴瀬周辺に集中しており、公平性、中立性に欠ける。 ・入浴介助が必要な高齢者は、別に対応を考えるべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の枠内に組み入れる方向で改善を。 ・自宅にお風呂のない高齢者については、保健衛生関係事業で対応を。地区社協との連携を強化し、コミュニケーションの場の提供を。 ・公衆浴場の保護のみであって、市が関わる意味が薄いのではないか。 ・公衆浴場保護か高齢者支援なのかがよく見えない。 ・高齢者支援目的であれば、対象年齢の引き上げや利用施設の拡充などの検討が必要である。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的が明確でない。所得保障なら別に考えればよい。銭湯の存続が目的ならこれに補助をすればよい。 ・受益が特定の市民に偏っており、事業の目的と手段が明確になってない。 ・目的性と公平性の観点からこの事業を継続する必要はない。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの公衆浴場の営業上の工夫に委ねるべき。効果があれば独自に割引率を考えるなどするはずである。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-18	事業名	富士見市シルバー人材センター運営補助事業		
担当課	高齢者福祉課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
5	9	2	5		
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
3			2		
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の補助金を使っての仕事は、補助金受給者が努力をして国の補助金をあてにしない独立した事業として出発してもらいたい。 ・富士見市には不要。近隣と共同で運営を検討してほしい。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間会社としての独立を目指すべきである。 ・しばらくの間は国と市から補助金をもらい、独り立ちしてほしい。 ・国・市の補助ありきの事業は市民として望まない。独立採算を目指すべきである。 ・補助金の投入によって成り立たせる組織であるよりは、社会事業的な株式会社化の方がよい。 <p>国・県実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する雇用確保であり、国庫補助が出る誘導的施策であるのならば、ハローワーク等、国の機関で広域的に行うべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の仕事確保は重要だが、効率を高めて、補助はだんだんと少なくしていく方向でいくべきである。 ・高齢化が進行する中で、事業の継続・拡充が必要となってくる。国庫補助金のあり方も含め、是正・検討が必要である。 ・最終的な民間化を目指した時限設定をするべきである。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法的な制約を受ける組織としての運営形態からの脱却を目指すべきである。 ・将来的に補助がなくても運営が成立するよう、事業の拡大選択をすべきである。 ・補助金ありきの経営は民間企業を圧迫する。今まで十分優遇されてきたのだから自立を目指すべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の法制度のしぼりのため、組織自立へのインセンティブ（動機付け）が働きにくい。補助金の時限設定を行った上で、別組織体として存続させることを検討すべきである。 ・法定事業なので義務的に実施しなければならない。本来ならば廃止して、民間に高齢者雇用の受け皿を考えるべきである。補助金額の縮小を。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-19	事業名	配食サービス業務		
担当課	高齢者福祉課				
市民判定人評価結果					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
3			17	1	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要	民間化	国・県で実施	市 (改善)	市 (継続)	
2	1		1	1	
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業でやっているサービスを、あえて税金を使ってやる必要はない。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体で約50食の配送は非効率すぎる。集会所レベルでのサービスができないか。 ・シルバー人材センターの方に公民館の調理室を使って調理してもらいたい。（業務として）ボランティアによる配送も検討すべきである。 ・本当にサービスが必要な人の掘り起こしを積極的に実施すべきである。 ・今後ニーズが高まる事業と思われる。給食センターの活用や介護保険制度の拡充の中で改善を目指すべきである。 ・安否確認は違う事業に任せて、配食を主にした方がよい。もう少し利用者を増やしてみてはどうか。 ・介護保険での調理補助ではダメなのか。 ・要改善だが、改善の範囲の議論が必要である。 ・高齢者が増加する中、このサービスは大切である。 ・見守りは近隣で行い、たまに子供達に届けてもらうなどの交流を図ってはどうか。 ・目的や対象者が明確でない。目的を再確認した上での改善を求める。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コストも大切だが、もっと思いやりのある対応を工夫してほしい。 					
事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の提供なのか安否確認なのか目的が不明確。利用実績からみるといずれも中途半端である。 ・対象人数153人に対して、1千万円超の予算をつけるのはいかがなものか。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金ありきの事業計画から脱却し、民間で回せるサービスを開拓すべきではないか。ボランティアの活用、低価格弁当の開発などアイデアを出すべきである。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業としての有効性を見極め、食数拡大を図るか別の手段で代替できないのか検討。 <p>市（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の食数では効率的とは言えないが、対象者を広げることは事業目的からすると妥当ではなく、現状の手法により継続することが適当である。 					

事業仕分け評価結果

事業名	2-20	事業名	市営住宅・コミュニティ住宅補助事業 (※市営住宅とコミュニティ住宅補助を分割)		
担当課	建築指導課				
市民判定人評価結果					
不要		民間	国・県	市 (改善)	市 (継続)
市営	12	3	1	5	
コミ	9	4	2	6	
事業仕分け人評価結果【参考】					
不要		民間	国・県	市 (改善)	市 (継続)
市営	5				
コミ	1	1		1	2
市民判定人の意見要旨（評価作業シートから）					
<p>【市営住宅】</p> <p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅扶助であれば現状に戻ることは困難という説明責任が伴う。40件という個人に1千万円もの税金投入は絶対合意できない。 ・公団の建替え事業に対して市が助成するのは理解できない。 ・何も駅の近所でなくてもよいのではないか。少し離れた場所なら金額も安い。 ・公平性を逸脱する住宅補助事業は、市民感情から認められない。 ・市の人口動態予測をして住宅サービスを考えるべきである。 <p>民間化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在入居している生活困窮者に対しては十分に考慮してほしい。 ・議論がわかりにくかった部分もあるが、基本的には民間に任せることも考える方向で検討を。 <p>市（改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業が進んで入居している現在は対応が難しいことから、経費の見直しや事業の効率化を進めるべきである。 <p>【コミュニティ住宅補助】</p> <p>不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が難しく理解しきれない。ただ、不公平感があるのは問題である。 					

事業仕分け評価結果

事業仕分け人の意見要旨（評価作業シートから）

【市営住宅】

不要

- ・20年後に市営住宅を廃止できるよう条件整備をするべきである。
- ・市として差額負担してまで公団に戻り入居させる必要があるのか疑問。公団の責任でやるべきである。
- ・公団の建替えに伴う戻り入居対策か、市全体の住宅政策の一環かを明確にすべきである。

【コミュニティ住宅補助】

不要

- ・民間住居の場合でも戻り入居対策をするのかという発想が重要。

民間化

- ・市の住宅施策方針が見えてこない。ゼロベースで今後の人口推計等考慮の上、施策を企画立案すべきである。

市（改善）

- ・事業規模の縮小、効率化を図るべきである。

市（継続）

- ・借上げ方式は効率的である。
- ・経費がかなりかかっているが、他に代替手段がない。